

ちきゅうけん
第62回
地球研市民セミナー

定員 200名
(申込順)

聴講無料

食の多様性と 文化の盛衰

—考古学からみた環境問題

環境問題は、人間の生産・消費活動が周囲の環境にダメージを与え続け、環境と人間活動とのバランスが保たれなくなった時に生じます。特に、利潤を過度に追求して、限られた種類の食べ物や製品を一ヶ所で大量に作ろうとすると、環境への負荷が高くなり、深刻な環境問題を起こしやすいことが知られています。つまり、環境問題を引き起こさないようにするためには、欲張りすぎず、いろいろな種類の食べ物や製品を必要な量だけつつましく作る事が大切です。

環境問題の始まりは、大規模な工業化が起こった18世紀以降と考えられがちです。しかし、環境と人間活動とのバランスの不均衡はずっと昔からありました。

本セミナーでは、縄文時代の例を参考にしながら、食の多様性の変化と環境問題について、歴史から何を学ぶことができるのかを考えます。

講師：羽生淳子

総合地球環境学研究所・教授

聞き手：村上由美子

京都大学総合博物館・准教授

4月30日(木) 18時30分～20時
受付開始 18:00

ハートピア京都・3階大会議室

※アーカイブ配信用に
ビデオ撮影を行いません

お申込み

聴講希望の方は、開催日、お名前、連絡先を記入のうえ、メール・電話・FAXにて右記までお申込みください。

総合地球環境学研究所 連携推進室 広報係

TEL. 075-707-2128

FAX. 075-707-2510

E-mail. shimin-seminar@chikyu.ac.jp

【主催】

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構
総合地球環境学研究所
Research Institute for Humanity and Nature

京都府立総合社会福祉会館
【会場】 ハートピア京都

〒604-0874
京都市中京区竹屋町通烏丸東入の清水町 375 番地

市営地下鉄烏丸線「丸太町」駅下車 5 番出口すぐ
ご来場の際は市バス・地下鉄等公共交通機関
をご利用ください。

